

介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)の進捗状況について

1 住民主体型訪問サービス(介護予防・生活支援サービス事業)

住み慣れた地域での生活の継続を目的として、住民主体で生活支援を行う団体の活動の継続や立ち上げを支援するために、平成29年7月1日から住民主体型訪問サービス事業費継続型補助を、平成30年4月1日から住民主体型訪問サービス事業費立ち上げ型補助を実施しています。

地域包括支援センターと連携すること等を要件に、補助の交付を受けている団体は住民主体型訪問サービスに位置づけられ、日常生活におけるちょっとした困りごとに対して支援を提供しています。

(1) 住民主体型訪問サービス事業費継続型補助及び立ち上げ型補助の概要

項目	立ち上げ型補助	継続型補助
補助の目的	活動に要する経費を補助することで団体活動の新規立ち上げを支援する	- 活動に要する経費を補助することで団体活動の継続及び拡充を支援する - 立ち上げ型補助及び市民協働推進補助金の交付が終わった後の収入の激変を緩和する
対象団体	地域住民が主体となって生活支援サービス(※)の提供を新たに開始しようとしている団体又は開始して5年未満である団体	地域住民が主体となって生活支援サービス(※)を継続的に提供している団体
補助額	上限15万円 (交付年数は最大3年)	上限5万円 (交付年数は最大3年)
対象経費	生活支援サービス提供活動の運営に要する経費 (人件費、飲食費、広告宣伝費等は対象外)	
補助の申請交付	・申請受付時期：4月～9月	

※生活支援サービス：日常生活における困りごとへの支援。内容に指定はなく、団体ができる範囲で設定する。

(例：庭木の剪定、ごみ出し、電球の交換、家事、通院介助など)

(2) 令和5年度住民主体型訪問サービス事業費補助の申請状況

・立ち上げ型補助交付団体：8団体（申請順）

No.	団体名	活動地域
1	湘南山手吉井自治会 チョットお助け隊	吉井二丁目～四丁目
2	リーデンス・コート サポートクラブ	リーデンス・コート（安浦町二丁目）
3	湘南国際村ボランティアクラブ	湘南国際村一丁目～二丁目
4	ほんいち・サポート	追浜本町一丁目
5	三丁目助け合い訪問サービスセンター	坂本町三丁目
6	馬一お手伝い会	馬堀町一丁目
7	ふれあいありがとう会	長沢一丁目内
8	不入斗のお助け隊	不入斗町

・継続型補助交付団体：9団体（申請順）

No.	団体名	活動地域
1	助け合いハイランド4丁目	ハイランド四丁目
2	コーポ湘南大津サポートの会	コーポ湘南大津（大津町五丁目内）
3	助け合い2丁目	ハイランド二丁目
4	たかとり・お助け隊	追浜行政センター管内
5	助け合いハイランド5丁目	ハイランド五丁目
6	シーハイツ助け合いクラブ	馬堀海岸一丁目
7	たすけあいクローバー	大矢部四丁目
8	馬堀台団地お助け隊	馬堀台団地（桜が丘二丁目内）
9	長瀬おたすけ隊	長瀬一丁目～三丁目

※補助の主な用途：庭木剪定用具購入費、団体の電話代、チラシの印刷費、保険料等

2 一般介護予防事業の進捗状況

(1) 地域介護予防活動支援事業

地域包括支援センターと連携して、地域活動組織の育成や、町内会館等身近な場所で行える介護予防活動を支援しています。

①介護予防ボランティア事業

事業名	実績	予定数
フレイルサポーター養成	1 コース 27 人養成	1 コース
介護予防サポーター養成	1 コース 42 人養成	1 コース
介護予防サポーターフォローアップ	6 コース 183 人(延)	6 コース

②介護予防教室など 193 回 3,872 人（令和6年1月末）

(2) 介護予防普及啓発事業

介護予防の知識の普及のための講座の実施や介護予防 DVD の配布をしています。

講座名	実績	予定数
入門介護予防講座	16 コース 269 人（実）	16 コース
認知症予防講座	10 コース 198 人（実）	10 コース
フレイルチェック教室	9 コース 118 人（実）	9 コース
フレイルサポート教室	3 コース 54 人（実）	3 コース
フレイル予防教室(みんなチャレ)	4 コース 51 人（実）	4 コース

(3) 地域リハビリテーション活動支援事業

住民自らが行う介護予防活動を支援するためにリハビリテーション専門職を町内会館などに派遣し、活動を支援しています。また、事例検討を通じて、より効果的な介護予防のケアマネジメントの実践を目指すための自立支援・介護予防のための地域ケア個別会議を実施しています。

事業名	実績	予定数
リハビリテーション専門職派遣	3 回 20 人	36 回
自立支援・介護予防のための地域ケア個別会議	11 回	12 回

(4) その他（後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業）

高齢者には疾病予防（保健事業）と生活機能維持（介護予防）の両面にわたる支援が必要です。そのため、本市では令和4年度から神奈川県後期高齢者医療広域連合（以下、広域連合とする）の委託をうけ、事業を開始しました。令和6年度以降は、市内全域（10 圏域）で実施します。

令和5年度は特別会計介護保険費の中で介護予防普及啓発事業として実施していた「フレイルチェック教室」と「フレイルサポート教室」を、令和6年度では委託事業として実施するため、一般会計に移管し「後期高齢者の介護予防事業費」として実施します。フレイル予防事業は引き続き、特別会計介護保険費の中で行っていきます。

令和5年度の実績

(ハイリスクアプローチ)

実施内容	対象者	アンケート 回答人数	訪問 (実人数)	訪問 (延人数)	備考
健康状態不明者	109	37	82	108	
重複投薬者	9	1	9	11	
合計	118	38	91	119	

(ポピュレーションアプローチ)

健康チェック・健康講話・健康相談の実施

実績	参加者数(実)	参加者数(延)
8 団体	227 人	422 人

＊令和6年1月末までの状況